

津労働基準監督署管内における休業4日以上之死傷災害発生状況 (令和5年7月末現在)

津労働基準監督署

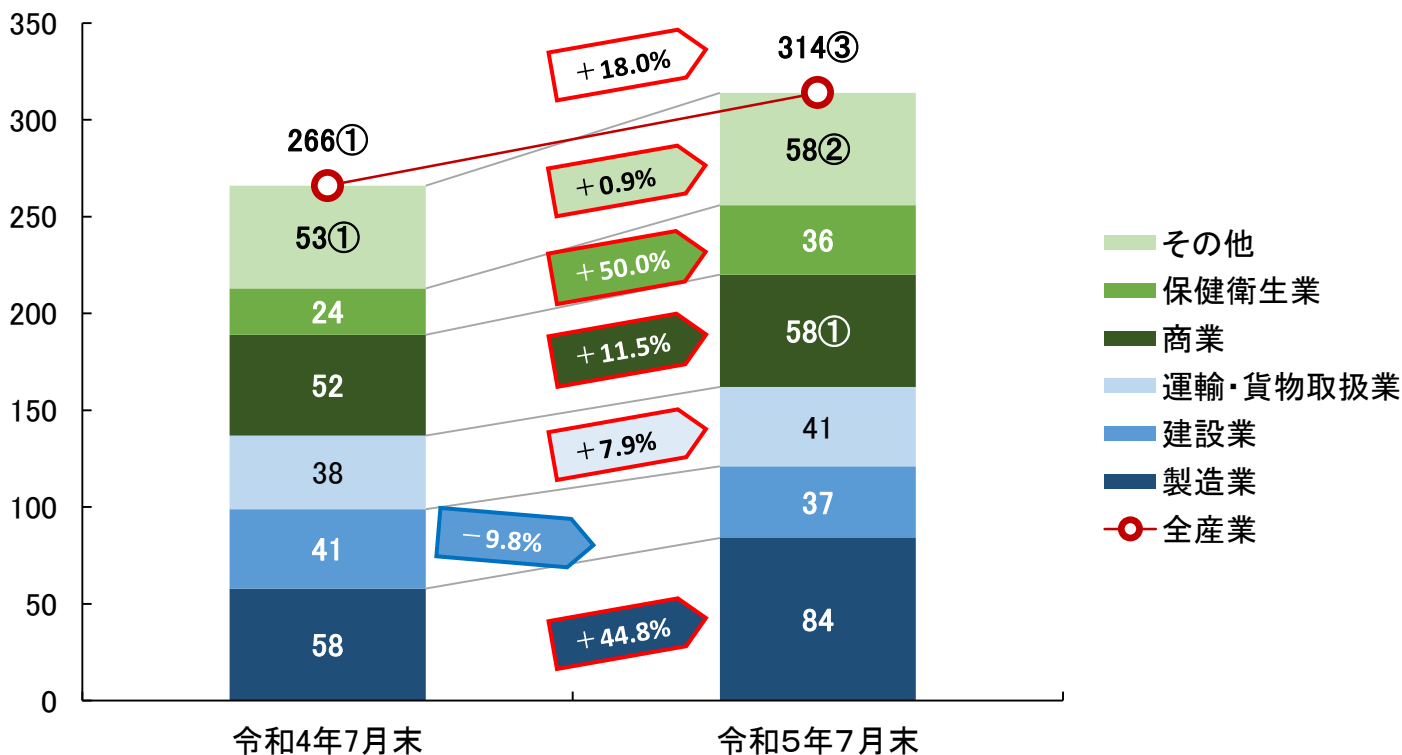
1 死亡災害発生状況

No	発生日	業種	年齢	事故の型	発生状況
1	1月	教育研究業	40代	墜落・転落	被災者は、事務所3階の窓ふきを行っていたところ、地面に墜落した。
2	1月	卸売業	20代	はさまれ・巻き込まれ	被災者は、コンベアの異常を点検したところ、コンベアに挟まれた。
3	2月	林業	50代	飛来・落下	被災者は、山林内で伐倒木の枝払いを行っていたところ、斜面を滑り落ちてきた伐倒木に激突された。



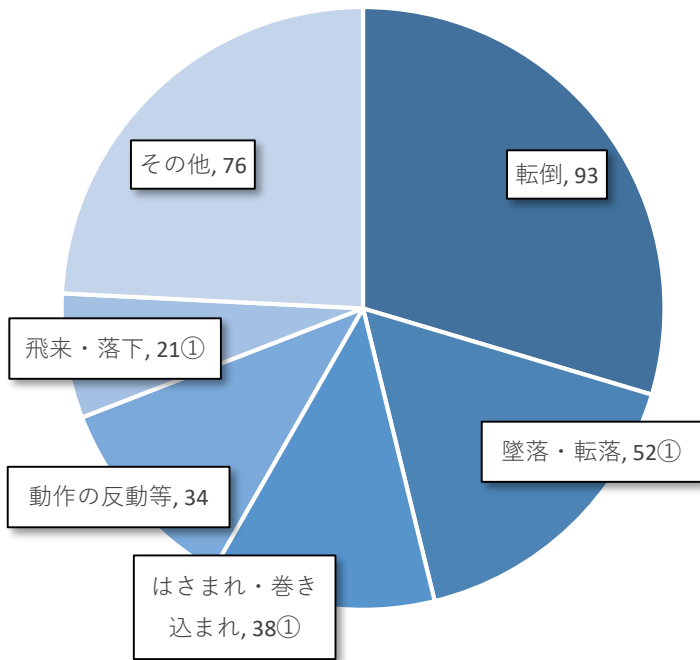
2 前年同時期比較

※ 資料：労働者死傷病報告 ○数値は、死亡者数で内数 単位：人
新型コロナウイルス感染症り患者を除く(令和4年104人、令和5年26人)

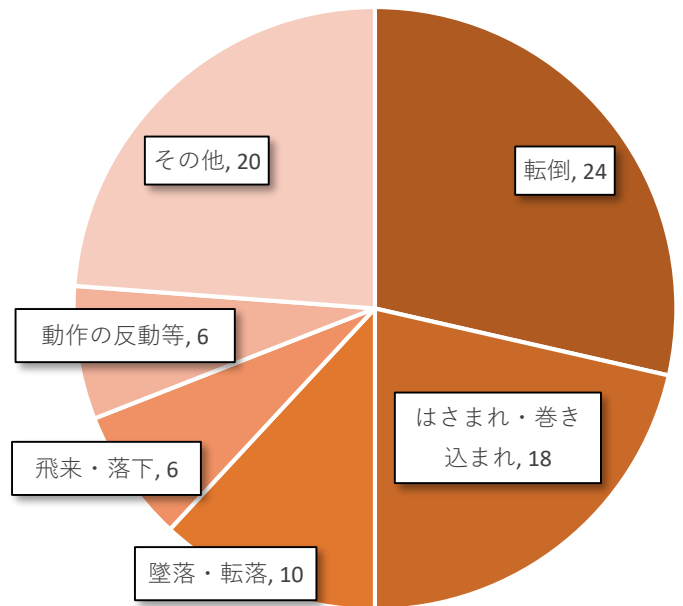


3 事故の型別 発生状況

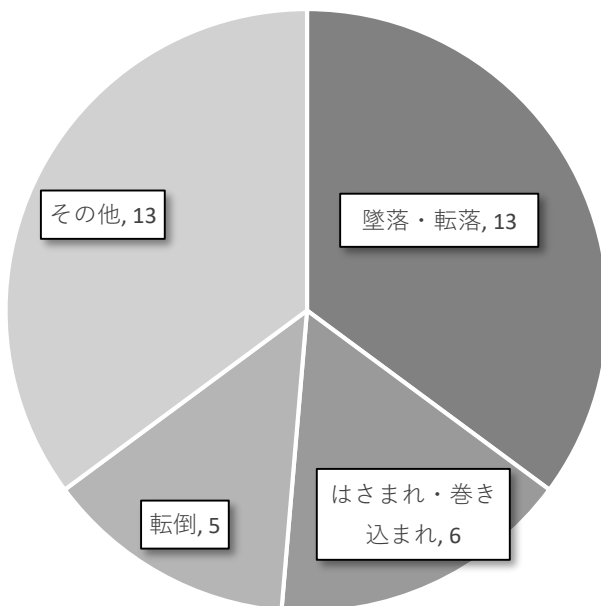
① 全産業・多発5型



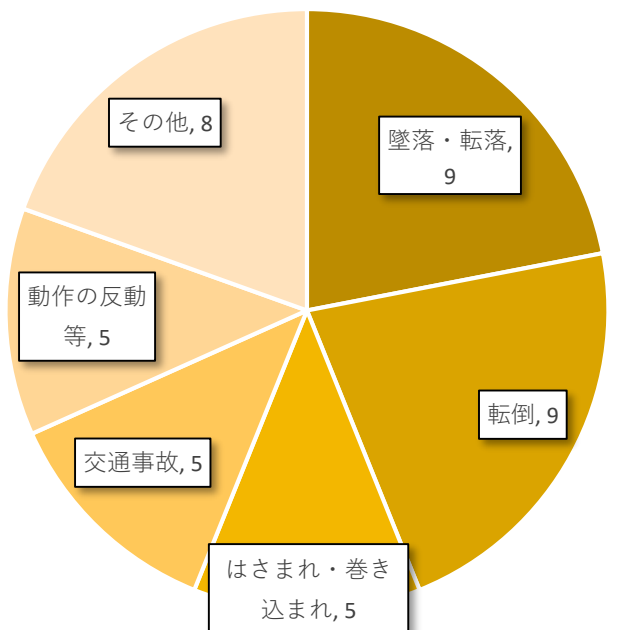
② 製造業・多発5型



③ 建設業・多発3型

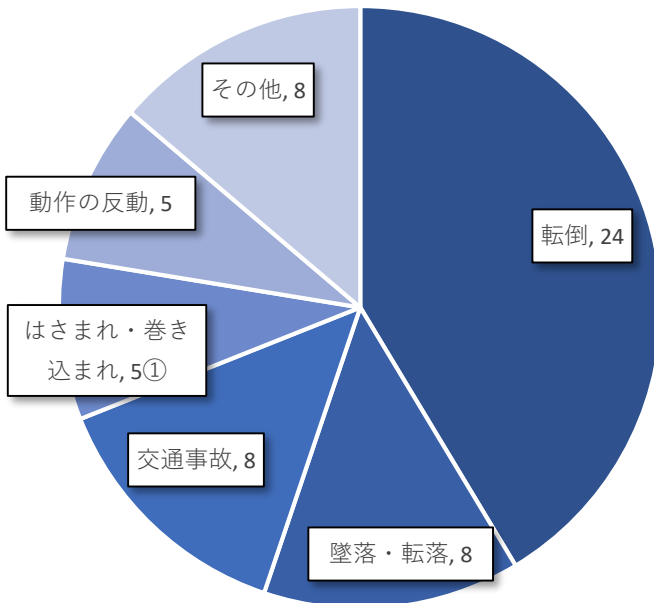


④ 運輸・貨物取扱業
多発5型

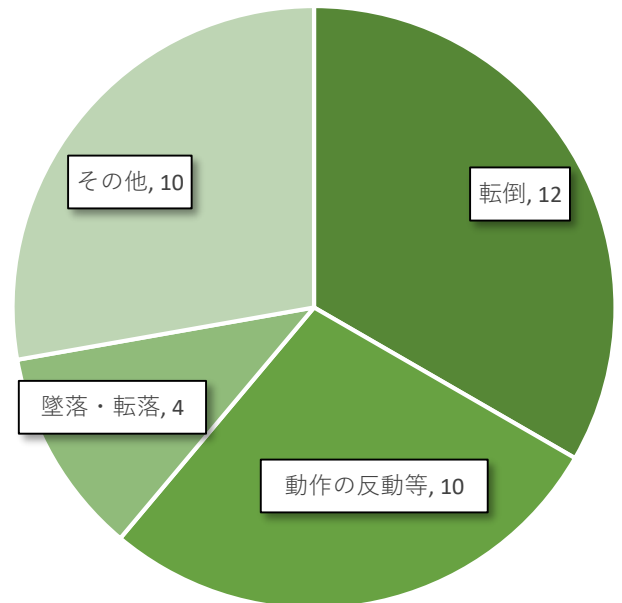


3② 事故の型別 発生状況

⑤ 商業・多発5型



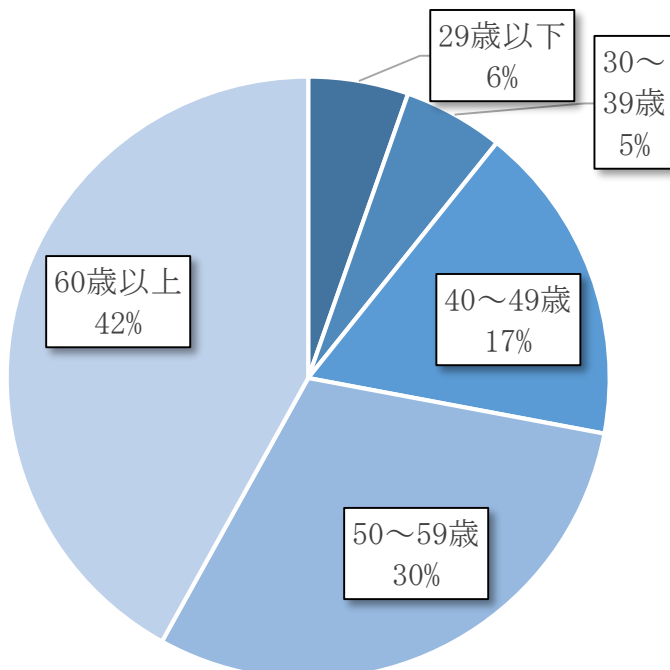
⑥ 保健衛生業・多発3型



4 転倒災害が増加しています。

全産業において、前年同期比較で33人55%増加し、93人となっています。

転倒災害・年齢別発生率



転倒災害の多くは、作業床・通路等での「滑り」及び「躓き」により、発生しています。

特に、年齢が高くなるにつれて災害発生率（50歳以上72%）が高くなっています。

転倒災害防止のために

- 3S（整理・整頓・清掃）を取り組みましょう。
- 滑りにくい靴を履きましょう。
- 転倒災害の危険が高い場所には、注意喚起の掲示をしましょう。
- その他、厚生労働省のHPを参照「転倒予防・腰痛予防の取り組み」で検索してください。（津署HPの「その他・関連リンク」にリンクを掲載しています。）